



シグネチャー[®]
WDG

殺菌剤

芝用

予防散布で芝を美しく



®はバイエルグループの登録商標





シグネチャー[®]
WDG

殺菌剤

芝用

特 長

- ストレスガード製剤技術を採用した殺菌剤
- 粒の大きい製剤で粉立ちを軽減
- ピシウム病・赤焼病に対する高い予防効果
- プログラム散布により夏場のベントグラス病害発生を抑制
- 美しく、健康なターフの形成に貢献

ストレスガード製剤技術とは？

ストレスガード製剤技術は、UVB を効果的に遮断しつつ光阻害を緩和する、バイエル独自の技術です。この製剤技術を用いた殺菌剤を使用することにより、病害の防除はもちろん、芝のストレス軽減や色合いの向上など、ターフクオリティを向上させることが可能となります。

グリーンの健康を維持するためには予防散布が重要

シグネチャーWDGで春～夏に発生するピシウム病・赤焼病を抑制

病気の発症率を抑えて夏を乗り切る体力を維持

予防効果の最適化へ



ピシウム病



赤焼病

病害発生が起因する芝の生理障害にも注意。
グリーンの体力を奪う夏の日差しは脅威

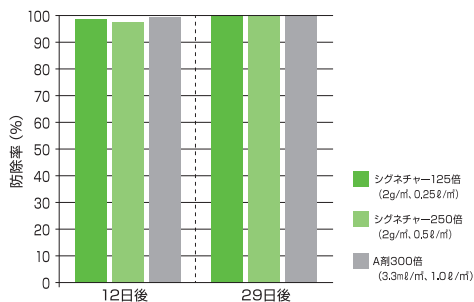
ストレス
過剰な熱や
太陽光線

ダウン
植物の光合成を
阻害、体力低下

ダメージ
植物の細胞が
損傷

高い効果を引き出す
薬剤ローテーションが
重要ポイントです

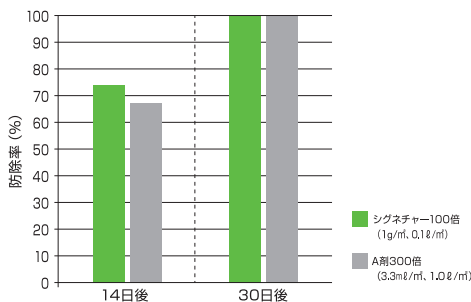
■ 赤焼病に対する効果



試験場所：新中国グリーン研究所 処理時期：赤焼病発病前 処理日：2008年8月11日、12日
調査日：2008年8月12日（12日後）（無処理病害発生率37.6%）
8月29日（29日後）（無処理病害発生率41.0%）
散布水量：0.25、0.5ℓ/m²；シグネチャー 1.0ℓ/m²；対照剤
区制・面積：4m²/区、3連制 草種・品種：ベントグリーン、ベントクロス（ナセリー）

シグネチャーは赤焼病発病前処理において、対照 A 剤とほぼ同等の防除効果が認められました。

■ ピシウム病に対する効果



試験場所：新中国グリーン研究所 処理時期：赤焼病発病前
処理日：2010年3月30日、4月13日
調査日：2010年4月13日（14日後）（無処理病害発生率30.0%）4月29日（30日後）（無処理病害発生率25.0%）
散布水量：0.1ℓ/m²；シグネチャー 1.0ℓ/m²；対照剤 区制・面積：5m²/区、2連制
草種・品種：ベントグラス、007

シグネチャーは 14 日後から効果が認められ、30 日後においてはピシウム専用剤である対照 A 剤と同等の効果が認められました。

シグネチャーの製剤



比較的粒径が大きいいため、
泡立ちが少なく使いやすい製剤です。

殺菌剤の予防散布の重要性

夏場の病害は回復に時間を要する／または回復できない

病徴が現れる前に病原菌は活動し、その密度を徐々に上げている

ほとんどの殺菌剤は予防の方が効果が高い

さらに、薬剤の効果を引き出すための基礎として…

多系統薬剤間のローテーション散布（耐性菌対策）

的確な病害診断による散布薬剤選定

より良い耕種的手法の導入

以上、すべてが予防散布の重要なポイントとなります。

ストレスガード製剤技術を採用。 少水量散布を実現。



ストレスガード製剤を組み合わせた殺菌剤予防散布プログラム例

■ 一般的な病害発生傾向の場合

● ストレスガード製剤

散布時期	5月			6月			7月			8月			9月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
発生対象病害	藻類 炭疽病			藻類 フェアリーリング病 ダラースポット病			ブラウンパッチ ビシウム病 ダラースポット病			炭疽病 赤焼病			炭疽病 藻類 ダラースポット		
薬 剤 名	プロテクメートWDG						ミラージュフロアブル			インターフェース			シグネチャーWDG		
		プロテクメートWDG	シグネチャーWDG		ミラージュフロアブル	シグネチャーWDG		インターフェース	シグネチャーWDG ディケートフロアブル	ビシウム専用剤	シグネチャーWDG			プロテクメートWDG	ディケートフロアブル
												ビシウム専用剤			

■ 激発病害発生傾向の場合

散布時期	5月			6月			7月			8月			9月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
発生対象病害	炭疽病 ダラースポット			藻類 炭疽病	フェアリーリング病 ダラースポット病 ビシウム病		藻類 ブラウンパッチ ビシウム病			赤焼病 炭疽病			炭疽病 藻類	ビシウム病 ダラースポット	
薬 剤 名				プロテクメートWDG			ミラージュフロアブル			インターフェース			シグネチャーWDG		
		プロテクメートWDG	ミラージュフロアブル	A剤	インターフェース	シグネチャーWDG A剤	プロテクメートWDG	シグネチャーWDG A剤	シグネチャーWDG ディケートフロアブル	ビシウム専用剤	シグネチャーWDG	インターフェース ビシウム専用剤		プロテクメートWDG	ディケートフロアブル

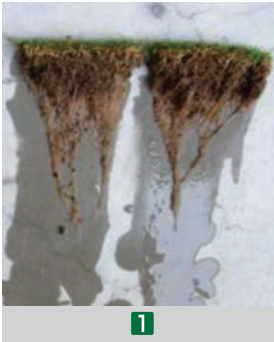
注：病害発生時期およびその程度を鑑みて、使用する薬剤を変更してください。※プログラム散布についてのご質問は取扱代理店又はバイエル担当者にお尋ね下さい。

プログラム散布の効果（根量比較）

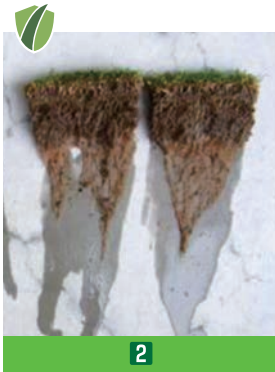
試験場所 茨城県Bゴルフ場 調査年月日 2013年9月6日



無処理区



1



2



3

	全散布回数	内訳
1 慣行殺菌剤散布区 (UVカット資材含む)	殺菌剤7回	UVカット資材6回、殺菌剤1回
2 ストレスガードプログラム	殺菌剤7回	シグネチャー5回 (6月・1回、7月・2回、8月・2回) ミラージュ1回 (6月)、殺菌剤1回
3 ストレスガードプログラム (新提案)	殺菌剤7回	シグネチャー5回 (6月・1回、7月・2回、8月・2回) ミラージュ1回 (6月) インターフェース1回 (7月)

- ストレスガードを含むプログラム散布において(2、3)、夏越し後にペントグリーンの健全な根系が確認されました。
- インターフェースを加えることにより(3)、さらに健全な根系の生育が確認されました。

⚠ 他剤と混用する場合は凝集や沈殿を生じる可能性があるため、先に他剤の希釈液を作り、本剤を一番最後に加えてください。プロテクメートWDGと混用しないでください。



シグネチャー[®]
WDG

殺菌剤
芝用

農林水産省登録
第22643号

適用病害及び使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ホセチルを含む農薬の総使用回数
西洋芝 (ベントグラス)	赤焼病 ピシウム病	100倍	発病初期	8回以内	0.1ℓ/㎡散布	8回以内
		125倍			0.25ℓ/㎡散布	
		250倍			0.5ℓ/㎡散布	

有効成分と性状

種類名	ホセチル水和剤
商品名	シグネチャーWDG
有効成分	ホセチル 79.4%
性状	青緑色水和性細粒
荷姿	1kg×10袋

人畜・魚介類に対する安全性(製剤)

人畜毒性 (急性) 普通物*	経口	ラット(♂♀)	LD ₅₀ >2,000mg/kg
	経皮	ラット(♂♀)	LD ₅₀ >2,000mg/kg
	皮膚刺激性	ウサギ	刺激性なし
	眼刺激性	ウサギ	刺激性なし
	皮膚感作性	モルモット	皮膚感作性なし
水産動植物に 対する影響	コイ		LC ₅₀ 137mg/ℓ (96hr)
	オオミジンコ		EC ₅₀ 129mg/ℓ (48hr)
	藻類		ErC ₅₀ 15.3mg/ℓ (0-72hr)

*「毒物および劇物取締法」に基づく「毒劇物の指定を受けない物質を示す」

効果・薬害等の注意事項

- 散布液を調製する場合、本剤の一部が水面に浮くことがあるので十分攪拌してください。
- 散布液調製後はできるだけ速やかに散布してください。
- 夏期高温時の連用散布は注意してください。
- 使用量、使用時期、使用方法を守り、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

貯蔵上の注意事項

- 密封し、直射日光を避け、食品と区別して、冷蔵・乾燥した場所に保管してください。
(高温・吸湿しやすい条件下では、物理的性状が劣化するおそれがあります。)

安全使用上の注意事項

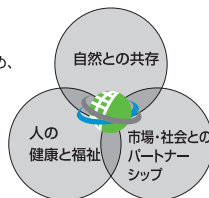
- 誤食などのないように注意してください。
- 散布液調製時及び散布時には保護メガネを着用して薬液が眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗いし、眼科医の手当を受けてください。使用後は洗眼してください。
- 公園等で使用する場合、散布区域に縄囲いや立て札をたて、散布中および散布後最小限の当日に関係者以外は立ち入らせないようにしてください。小児、人畜等に留意してください。
- 食べられません。
- 有効年以内に使用してください。
- 体調の悪いとき、妊娠中、飲酒後等は取扱い及び作業をしないでください。



PROTECTING
TOMORROW
...TODAY

バイエルクロップサイエンスでは、
将来の世代のニーズを損なうことなく
現代のニーズを満たす、「持続可能な発展」のため、
Protecting Tomorrow ... Todayをモットーに

- ① 人の健康と福祉
 - ② 自然との共存
 - ③ 市場・社会とのパートナーシップ
- を柱として様々な活動を実施しています。



- シグネチャーWDGはプログラム散布によってターフクオリティを維持し、通常治療に必要とされる薬剤・資材・水の総使用量の軽減につながります。
- 芝の健康を維持することで二酸化炭素の減少に寄与します。
- シグネチャーWDGは他剤とのプログラム散布により美しいターフの維持を可能とします。プレーヤー、スタッフ、オーナーに適切な環境を提供します。
- サマーディックラインに対する新しいソリューションを提供します。
- シグネチャーWDGは新しい顆粒水和剤で粉立ちが少なく、作業者にも配慮しています。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載内容以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届くところには置かないでください。



Bayer

バイエル クロップサイエンス株式会社
エンバイロサイエンス事業部

〒100-8262 東京都千代田区丸の内1-6-5
【お客様相談室】0120-575-078

ホームページ

www.environmentalscience.bayer.jp

お問い合わせ先